

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121121040	ファッションコーディネート Fashion coordinate	丸山眞澄			1	選択	2前期
科目の概要							
この科目は教育目標である日常生活を衣の面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。(DP2)アパレル業界での経験を活かしスタイリングスキルを上げることで人とのコミュニケーションを円滑にして信頼関係を築くことにつながるよう教育を行う。ファッションコーディネートにおいて、人や物(ファッション)の魅力を最大限に引き出すイメージを分析し、マッチングさせる力を養う。またファッションデザインの3要素である色・形(シルエット・ディテール)・質感(素材)の基礎知識とそれらで構成されるイメージの分類法を習得し、理論的なファッションスタイリングの習得を目指す。							
学修内容				到達目標			
① 色・形・質感で構成される人・物のイメージを感覚だけでなく論理的に分析する。 ② ファッションスタイリングの3要素(色・形・質感)をファッションテイスト別に分類し、人とファッションをマッチングさせる。 ③ 自己表現だけでなくコミュニケーション能力を發揮し、他者の納得が得られるファッション提案をする。				① 「色・形・質感」で構成される人・物のイメージを感覚だけでなく論理的に分析できる。 ② ファッションスタイリングの3要素(色・形・質感)をファッションテイスト別に分類し、人とファッションのマッチング提案ができる。 ③ 自己表現だけでなくコミュニケーション能力を發揮し、他者の納得が得られるファッション提案できる。			
学生に發揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業時間外の時間を使い、課題の準備、未完了の課題の作成に取り組む。					
	働きかけ力						
	実行力	課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力をする。					
考え抜く力	課題発見力	課題作成の為に、普段から意識をもって人や物を観察する。					
	計画力						
	創造力	課題の条件を複数の観点から検討し、創造力豊かにイメージを膨らませ、独自の感性を表現できる。					
チームで働く力	発信力	課題作品のコンセプトを作品内に的確に反映させるだけでなく、他者に分かりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	ディスカッションで他者の意見を正確に理解した上で、自分の考えもまとめることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話など触るなどせず、ルールを守った行動ができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
プリントを適宜配布する。 参考文献：『カラーリスト』、小林重順、講談社、(2010)、クラスルームから資料提示する。							
他科目との関連、資格との関連							
「ファッションコーディネート」は専門分野の空間、情報デザイン分野の科目の一部であり、カラーコーディネートで獲得した知識、技術を活用する。また、「ファッションコーディネート」はその後に履修する服飾文化論やファッション造形学の基礎になる科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
ファッションアイテムのイメージと人のイメージの関係性がどう結びつくのかを考えながら常に意識を持って講義を聞くこと。 課題の作成にあたっては、アイデアの検討や材料の収集				実習科目であるので、予定進度まで進まなかった場合は、授業時間外でも実習を行い、進度まで進めること。 時間内に提出できない課題は次回必ず提出し内容を復習しておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		20	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			70	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>ファッションコーディネートを構成する人と物の「色・形・質感」を的確にイメージ分析でき、その結果をテキスト別に分類し、人とファッションのマッチングが提案できる。更に、グローバルな視点に立ち、自己のファッション分析・分類だけえなく、他者のコーディネートコミュニケーション能力を發揮し、分かりやすく提案ができる。</p> <p>*上記に対し極めて高い評価が得られると判断された場合「S(秀)」評価をする。</p>	<p>ファッションコーディネートを構成する人と物の「色・形・質感」を的確にイメージ分析でき、その結果をテキスト別に分類し、人とファッションのマッチングが提案できる。更に、グローバルな視点に立ち、自己のファッション分析・分類だけえなく、他者のコーディネートコミュニケーション能力を發揮し、分かりやすく提案ができる。</p> <p>*上記に対してほぼ目標に達成できている場合「B(良)」評価をする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	人のファッションデザインのマッチングとは(嗜好色調査)	課題の解説、講義 実習	科目の概要と課題の目標を理解できる。	(予習) シラバスを読み内容を把握しておく。 (復習) ファッションスタイリングを論理的に説く事の重要性を復習する。	90	主体性 課題発見力
2	ファッションイメージの捉え方(嗜好色・パーソナリティー分析)	課題の解説、講義 実習	嗜好色とパーソナリティーの関係性について概ね理解できる。	(予習) 自分の嗜好色やパーソナリティーについて客観的に分析しておく。 (復習) 嗜好色とパーソナリティーの関係性を理解しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力
3	色で捉えるファッションイメージ(色相とトーン・ベースカラー)グループワーク	課題の解説、講義 実習 ディスカッション	単色の色相・トーン・ベースカラーのイメージをディスカッションを通して口頭で表現できる。	(予習) 各色相・トーンのイメージを予め確認しておく。 (復習) 単色の色相・トーン・ベースカラーのイメージを、普段の生活の中でも意識して捉える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
4	色で捉えるファッションイメージ(寒暖・清濁・軽重)グループワーク	課題の解説、講義 実習	色の寒暖・清濁・軽重がファッションイメージにどのような効果を及ぼすか理解できる。	(予習) 色の寒暖・清濁・軽重について考えてくる。 (復習) 自身のファッションアイテムを色の寒暖・清濁・軽重で分類してみる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
5	色で捉えるファッションイメージ(イメージ配色テクニック)グループワーク	課題の解説、講義 実習	配色法とイメージの関係性が理解できる。	(予習) 配色作成がしやすいよう、カラーカードを整理しておく。 (復習) 自身のファッションコーディネートにどのような配色テクニックが使われているか分析する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
6	色で捉えるファッションイメージ(イメージ配色)	課題の解説、講義 実習	単色のカラーイメージと、配色テクニックを駆使してファッションイメージを作成する。	(予習) ファッション雑誌を参考に各ファッションコーディネートの色使いを調査しておく。 (復習) ファッションのイメージの色使いの共感覚を意識する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
7	人のイメージの捉え方(パーソナルイメージ分析)	課題の解説、講義 実習	顔分析をして、自身のテイストを理解する。	(予習) 自身の顔のパーツを分析しておく。 (復習) 周りの人の顔分析を試みる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
8	人のイメージの捉え方(パーソナルイメージ分析)	課題の解説、講義 実習	肌色分析をして、自身のベースカラーを知る。	(予習) 自身の肌色にイエローベース・ブルーベースどちらの色が似合うか予め考えておく。 (復習) 分析結果をファッションアイテム・メイクアイテムで試してみる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	物（ファッションアイテム）のイメージの捉え方（色・形・質感）	課題の解説、講義 実習	物（ファッションアイテム）のテイストを色・形・質感で分析し、理解できる。	（予習）身の回りファッションアイテムがどのようなイメージなのか考えておく （復習）身の回りファッションアイテムがどのような色・形・質感で成り立ちイメージを構成しているか意識して観察する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
10	物（ファッションアイテム）のイメージの捉え方（襟・柄・シルエット）	課題の解説、講義 実習	物（ファッションアイテム）のテイストを襟・柄・シルエットで分析し、理解できる。	（予習）ファッション雑誌からアイテムの襟・柄・シルエットを切り抜いてくる。 （復習）身の回りのファッションアイテムがどのような色・形・質感で成り立ちイメージを構成している	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11	ファッションスタイリングマップ作成（他者）	課題の解説、講義 実習	他者の顔分析をしどのようなテイストなのか理解する。	（予習）今までの講義内容をしっかりと把握しておく。 （復習）他者のファッションスタイリングのアイテムを雑誌から収集してくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
12	ファッションスタイリングマップ作成（他者）	課題の解説、実習	他者のファッションスタイリングを提案できる。	（予習）他者のファッションスタイリングのアイテムを雑誌から収集してくる。 （復習）他者のファッションスタイリングマップを完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
13	パーソナルファッションスタイリングマップ作成（他者）	課題の解説、実習	自分の顔分析に沿ったテイストのファッションコーディネートを表示する。	（予習）自分のファッションスタイリングのアイテムを雑誌から収集してくる。 （復習）他者のファッションスタイリングマップの続きをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14	パーソナルファッションスタイリングマップ（自分）	課題の解説、実習	自分のイメージに合ったテイストのファッションコーディネート	（予習）自分のファッションスタイリングマップの続きをする。 （復習）自分のファッションスタイリングマップの修正をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
15	自分のイメージを顔・体型から分析しイメージに合った色、形、素材を客観的に分析しスタイリングの表現をする。	オンデマンド方式で行う。 課題のボード作成の解説に従い、パーソナルファッションスタイリングマップ（自分）および分析レポート作成。作成した課題はclassroomにて提出。	スタイリング提案における理論的な分析方法と表現の手法が活用できる。 自己表現だけでなくコミュニケーション能力を発揮し、他者の納得が得られるファッション提案をする。	（予習）スタイリングボード作成に関する資料を準備する。 （復習）これまでの講義内容を把握したうえで今後のファッションコーディネートに活かす。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力